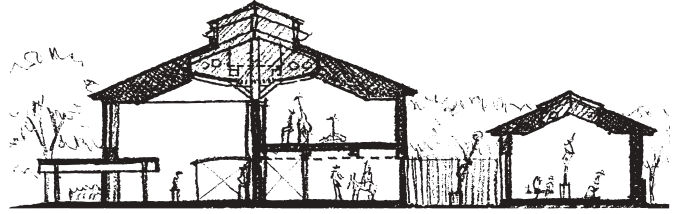




あさご芸術の森美術館
—淀井敏夫記念館—

美術館だより
友の会だより

2018/4
第57号



淀井敏夫「婦人像」(1952年)／ブロンズ／H42.5×W32×D27.5cm

モデルを前にして制作された肖像ではあるが、戦前につくられた肖像にくらべると、写実性よりも量塊によるフォルムの強さが前面に出てきている。

開催中の
企画展

忍たま乱太郎の 原画・忍者道具展

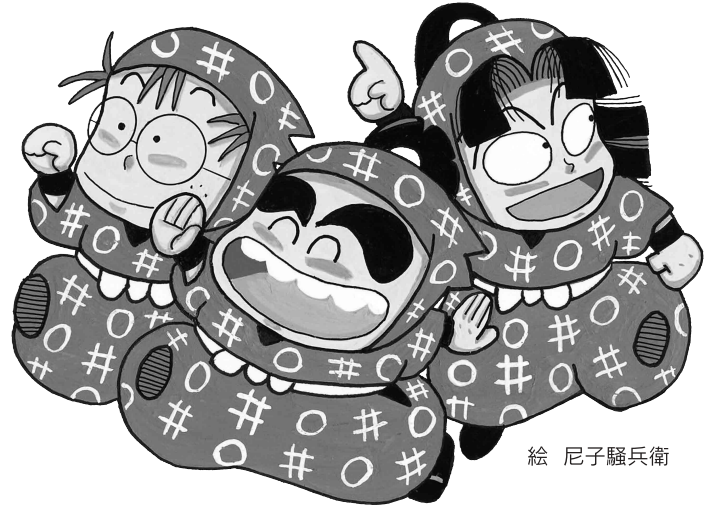
〈会期〉5月6日(日)まで好評開催中 〈会場〉2階企画展示室

「忍たま乱太郎」は、漫画やテレビなどで多くの人に親しまれ、映画化されるなど今なお進化し続けています。

時は戦国時代、一流忍者を目指す忍者のタマゴ(忍たま)たちが忍者の学校『忍術学園』で忍術を学びながら次々に起きるさまざまな事件や困難に個性豊かな先生たち、先輩や同級生たちとともに立ち向かってゆく、ハラハラドキドキ・ワクワクの物語です。

作中には作者の尼子騷兵衛の地元、尼崎市の地名が人物の名前に用いられるなど遊び心もあり、また笑いの中にも忍者道具や背景などはきっちりと時代考察されています。

今回の企画展では「忍たま乱太郎」の原画と実際の忍者道具を同時に展示することにより、より深く忍たまワールドをお楽しみいただけることと思います。



絵 尼子騷兵衛

開催中の
企画展

立原えりかのグリム童話絵本原画展

〈会期〉5月6日(日)まで好評開催中 〈会場〉1階アトリエ室

「白雪姫」「ヘンゼルとグレーテル」「赤ずきん」など、世界中で親しまれている「グリム童話」。

本展でご紹介する「立原えりかのグリム童話」は、グリム童話刊行200年を機に2013年10月から2014年3月まで朝日小学生新聞に掲載されていたものです。童話作家・立原えりかの文章に、第一線で活躍中のイラストレーター・絵本作家・漫画家・版画家などがそれぞれの世界観で絵を描きました。

立原えりかと24名の画家たちによる新しいグリム童話の世界を会場でお楽しみください。

●よみがえるシーン

「童話不足」になると、心が乾いて固くなります。そんなとき、急いで開くのがグリム童話、とたんにさまざまなシーンがよみがえるのです。ソラマメを並べて、縫い目を点検したのは幼い子供のころでした。縫い目のないマメを探したのですが、どのマメにもかならず縫い目がついていました。いつまでもソラマメを調べていると、母に叱られたものです。「いかげんにして。早く茹でないと夕ごはんは間に合わなくなるの」。ひとりでお使いに行くようになると、オオカミがこわくなりました。都会の道に、オオカミがいるわけではないのに、帰り道を急いで足を速めずにはいられませんでした。「お姫さまも楽しめないのよ。いのちをねらわれたり百年も眠らされたり蛙と結婚しなければならなかったり…」。

舞踏会やディナーパーティーへのあこがれをさとしたのは「白雪姫」や「野ばら姫」や「カエルの王さま」に登場するプリンセスたちです。真夏の夜、ぎんぎんに冷えたビールを飲み交わしたのは「かぶら」の王さまです。「働き者の弟が献上したのは大きなかぶらだった。コンテナ車で運ぶのがやっとなのかぶらを、城で働く者たちに食べさせるつもりだったのだ。ところが、褒美をあてにした兄がやってきた。差し出されたおたからへの礼に、与えたのはかぶらだ。なんとすばらしい交換だと思うだろうが」「最高です」と笑って、王さまと乾杯するので。グリム童話は、読むたびにたつかしい世界をよみがえらせてくれて、至福の世界を味わわせてくれる魔法使いです。(立原えりか)



「白雪姫」東逸子

これからの
企画展

但馬地域博物館 お宝大集合

〈会期〉5月12日(土)～7月1日(日) 〈会場〉1階アトリエ室・2階企画展示室

分野を超え15館から逸品そろう

「面白い企画だ。ぜひ、県政150周年記念県民連携事業の特認事業に申請するように」。ある会で、荒木一聡副知事に「但馬地域博物館 お宝大集合」展(5月12日～7月1日)の構想を話した。但馬にある15の館・園から逸品約100点を一堂に集め、紹介します。と。冒頭は、副知事からの思いもよらない提案だった。展覧会予算が極端に少ない中、特認事業に承認されると、県から事業費の半分(上限500万円)が助成金として下りてくる。

但馬には、美術館や博物館、水族園、文学館などが点在する。現在、そのうち19館・園が「但馬地域博物館連絡会」(会長＝小寺誠・豊岡市立歴史博物館館長)に加盟し、情報を共有しながら地域文化の向上に貢献しよう、と活動を続けているが、これまで、複数の館・園がまとまって展覧会を開催することはなかった。

今回の展覧会では、例えば、県立円山川公苑美術館は書家森田子龍「虎」、豊岡市立歴史博物館 但馬国府・国分寺館は「見蔵岡遺跡出土縄文土器」、同美術館 伊藤清永記念館は洋画家伊藤清永「浴後の女」、同日本・モンゴル民族博物館は「ゲル(移動用小型住居)」を出品する。このほか、香美町ジオパークと海の文化館から「マンボウ」全身はく製、浜坂先人記念館・以命亭からは日本画家谷角日沙春「ツツミ」、県立但馬牧場公園から「農耕使役但馬牛」等身大模型、山田風太郎記念館から作家山田風太郎「エドの舞踏会」直筆原稿、おもしろ昆虫化石館から「恐竜の卵」を借用した。子どもから大人まで、幅広い層の知的好奇心をくすぐる内容だ。

この「県政150周年記念県民連携事業」は、地域と協調するのが前提で、行政機関は応募できない。そこで、急きよ、実行委員会を立ち上げることに。構成は先の「但馬地域博物館連絡会」と、あさご芸術の森を軸に多々良木地区の活性化を目指す「あさご芸術の森活性化協議会」(会長＝伊藤孝・多々良木区長)の2団体。本展を通して、同協議会との連携を深化させ、貴重な資料の次世代への継承の大切さ、また、地域への再認識につながることを期待される。

残念ながら、特認事業には、すでに美術館友の会企画「アートでつなぐ鉱石の道・銀の馬車道の人と、未来へ展」が提出されていたこともあって、この「お宝大集合」展は、一般事業枠(助成額50万円)での採用になった。朝来からの2件が「県政150周年記念県民連携事業」に採択されたことになり、朝来のポテンシャル(潜在能力)を広く知ってもらいたい機会になりそうだ。



豊岡市立日本・モンゴル民族博物館のゲル

PREVIEW—2018年度的美術館展覧会予定—

■企画展示室(2F) □アトリエ室(1F) ◆企画展示室+アトリエ室 ※企画展・公募展の詳細な内容は随時チラシなどでお知らせします。

◆但馬地域博物館 お宝大集合	5月12日(土)～7月1日(日)
◆海洋堂フィギュア展(仮称)	7月14日(土)～9月2日(日)
■第7回あさごアートコンペティション優秀作品展	9月15日(土)～10月21日(日)
◆アートでつなぐ鉱石の道・銀の馬車道の人と未来へ展	10月27日(土)～11月18日(日)
■第14回全国こども絵画選抜展	11月23日(金)～12月9日(日)
■アート2019 干支展(亥)	12月15日(木)～1月14日(月・祝)
■～朝来からの風～ 朝展2019	1月26日(土)～2月11日(月・祝)
□友の会交流美術展	2月23日(土)～3月10日(日)

DEVELOPMENT

2017 あさご芸術の森の歩み



7月/チャイルドアートキャンプ



8月/こっばで好きに作っちゃえ!



8月/アートDE遊ぼう



10月/チャイルドアートキャンプ、
テラコッタのランタン

- 1月** 5日「2017干支絵手紙コンクール」審査会/7~15日、生野メインホールで「2017干支絵手紙コンクール」を開催/12~17日、アートホール神戸で「第12回全国こども絵画選抜展巡回展」を開催/29~30日「朝展」審査会
- 2月** 1~12日、山東緑風ホールで「~朝来からの風~朝展優秀作品展」を開催
- 3月** 18日~5月7日「ほほ笑みと祈り 円空展」を開催/18日~4月16日「三浦悠『竹田城跡』写真展」を開催
- 4月** 22日~6月18日「夏のアートフェスティバル~あれからはや20年...」を開催
- 5月** 13日~6月25日「兵庫県公館所蔵 兵庫ゆかりの作家展」を開催/21日「芸術村とフリーマーケット」を実施
- 6月** 4日、多々良木ダム湖マラソン会場にて缶バッチづくりワークショップを実施
- 7月** 1~17日「こころのアート展」を開催/22日~9月3日「水中の生き物たち 骨格標本展」を開催/22日「親子でテラコッタ」ワークショップを実施/23日「でっかい!?さかな作っちゃお!」ワークショップを実施/28~29日「チャイルドアートキャンプ」を実施
- 8月** 4~6日「アートDE遊ぼう!」を実施/4~5日「チャイルドアートキャンプ」を実施/5~6日「織体験ワークショップ」を実施/11日「こっばで好きに作っちゃえ!」ワークショップ実施/12日「おそろいグラスDE乾杯!!」ワークショップを実施
- 9月** 10~11日「第6回あさごアートコンペティション」審査会を実施/16日~10月29日「第6回あさごアートコンペティション入賞・入選マケット展」を開催/17日~10月15日「織作峰子写真展 『朝来散策』」を開催/24日「織作峰子写真教室・カメラ女子 日本遺産と芸術の森を撮る!」を実施
- 10月** 5日「第13回全国こども絵画選抜展」審査会を実施/19~24日「学校厚生会但馬美術展」を開催/21~22日「チャイルドアートキャンプ」を実施/28日~12月3日「作家の提案シリーズVer.18森の息 人の生き」を開催/29日「あさごアートコンペティション表彰式」を開催
- 11月** 3日~12月3日「第13回全国こども絵画選抜展」を開催/11~12日「但馬まるごと感動市」へ出張ワークショップを実施/17~19日、ギャラリー四季彩にて「2017震災復興支援チャリティー展」を開催
- 12月** 3日「第13回全国こども絵画選抜展」表彰式を実施/9~22日、生野メインホールにて「第13回全国こども絵画展巡回展」を開催/9~24日「アートホール神戸写真公募展~こどもの世界~“愛”」/9日~翌1月14日「アート2018干支(戌)展」を開催/16日「兵庫稲美少年少女合唱団クリスマスコンサート」を実施/友の会主催プラバンアートワークショップを実施/17日「ガラスルーティング教室」ワークショップを実施/22~23日キャンドルイベント「風と光のページェント」を実施/同イベントにて友の会展示を実施

Voice

みなさまの声

あさご芸術の森に寄せる

すべての道は芸術に通ず

地域おこし協力隊

金丸 真次郎



こんにちは、地域おこし協力隊、金丸真次郎と申します。

僕のこれまでの経歴なのですが、京都の美術短期大学で現代美術を学び、卒業後、お笑い養成所に入所し、芸人として活動、その後、アパレルブランドに入社して約10年間働きました。アパレル時代の休暇中にバックパッカーで訪れた、ベトナム、カンボジアで人生の価値観が変わりました。物質的な豊かさを求めるより、心の豊かさを求め、地域おこし協力隊に応募し、朝来市に来ました。

自分でも異色の人生だと思います。それは、短期大学時代に学んだ芸術が始まりだと思っています。その時学んだ、自由な発想や、ものづくりを通しての自分の表現方法などが、その後の人生に大きな影響を与えてくれました。それまでは、「普通が当たり前」「数が多い方が正解」と思い生きてきたのですが、芸術によって、その考え方は覆され、いろいろな生き方があるという事に気づきました。学生時代以降、芸術という分野から離れましたが、その時、学んだ事が、芸人時代、アパレル時代、協力隊時代、すべての時代に発揮されていると思っています。

現在は朝来市役所の農林振興課で有害鳥獣対策の仕事をしていて、将来は、有害鳥獣対策や狩猟で捕獲された鹿やイノシシなどの、破棄されている角や骨や皮を有効活用して、ものづくりを考えていこうと思います。10代の頃に芸術から始まったといっても良い僕の人生なのですが、朝来市に移住して、再び、ものづくりや芸術、あさご芸術の森美術館と関わっていきるとは、思ってもいませんでした。

NEWS トピックス

ASAGO ART VILLAGE

美術館クリスマスナイト
風と光のページェント

昨年好評を得た光のイベントの第2弾として12月22、23両日、今回はクリスマスに合わせたキャンドルイベント「風と光のページェント」を開催しました。

今年も市内の子どもたちにキャンドル絵の作成を依頼し、それぞれのクリスマステーマに、定番のかわいいサンタやトナカイの絵の他にも、思わず微笑んでしまう、オリジナリティーあふれる素敵な作品が約560点寄せられました。

また、今年は新たに友の会エリアとして、会場の1スペースを友の会が企



キャンドルナイトの様子

画・設置を行ったキャンドル作品が会場に新たなエッセンスとして加わりました。他にも、友の会会員の加藤貴之さんによるピロシキやカフェラテの販売もあり、寒い夜空にぴったりのメニューでした。会場には合計4,000個

のキャンドルが灯され、美術館全体が光のボールに包まれた…そんな幻想的なあさご芸術の森を友達や家族とキャンドルの炎を眺めながら、いつもとひと味違った素敵な一夜を過ごしていました。

NEWS トピックス

ASAGO ART VILLAGE

美術館 クリスマスコンサート

今では美術館の冬の風物詩となっている、兵庫稲美少年少女合唱団のクリスマスコンサートを12月16日に開催しました。その澄み渡った歌声は、アトリエ室に響き渡り、来館者を異空間へと誘いました。

生野町出身の椿野伸仁さんの指導で、合唱団はこれまで海外遠征を行うなどその歌唱力には定評があり、来館者に一足早いクリスマスプレゼントを贈ってくれました。

干支絵手紙コンクール開催 テーマは「犬・戌・いぬ」

干支絵手紙コンクールでは2018年の干支である「戌(いぬ)」をテーマに、それぞれの夢を絵や書などさまざまな素材の作品が、北は栃木県から西は山口県まで、221人の皆さんから336点の作品が寄せられました。

かわいらしく、温かい気持ちにさせてくれる作品が多く見受けられ、新しい年のスタートにふさわしい力作がそろいました。今年も昨年に続き、美術館と生野メインホールで展示を行いました。厳正な審査の結果、選ばれた入賞・入選者は以下のとおりです。

■干支絵手紙コンクール受賞・入選者 (敬称略・順不同)

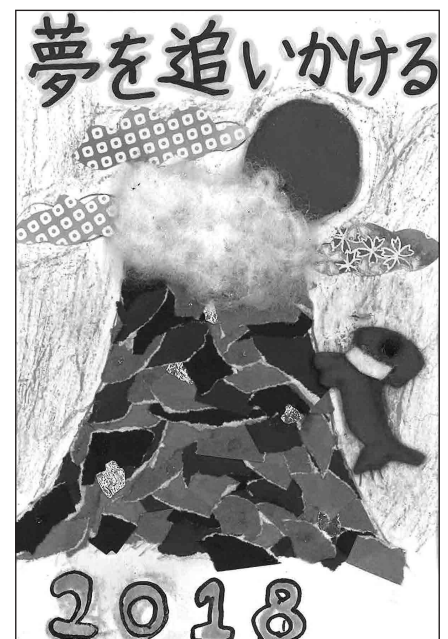
- ◎グランプリ…上垣弘子(養父市)
- ◎優秀賞…藤本 華(朝来市)
西村圭織(豊岡市)
- ◎奨励賞…角本 勝(相生市)
浦野佑太(朝来市)
上地芳江(朝来市)
- ◎ユーモア賞…斉藤なみ子(宍粟市)
- ◎がんばったで賞…村瀬ことこ(豊岡市)
- ◎あじわい賞…中島奈代美(朝来市)
- ◎ほのぼの賞…西村夏海(豊岡市)
- ◎美術館賞…片岡重和(大阪府高槻市)
- ◎審査員特別賞…
今枝房子(西宮市)
久保則香(姫路市)
石本かやの(豊岡市)
- ◎入選…長谷川カツヨ(姫路市)
西岡節子(神戸市)
立岩昭子(神河町)
石田咲介(朝来市)
大林 漣(朝来市)
柿本萌玖(朝来市)
岸本美智子(朝来市)
植田安司(大阪府八尾市)
脇坂正義(明石市)
二見忠義(神戸市)
岩崎名音(養父市)
西岡きみ代(香美町)
高田怜奈(養父市)
池田まゆみ(養父市)
関 隆則(京都府京都市)
谷口真緒(朝来市)
田村義人(養父市)
田中ますみ(大阪府高槻市)
宮地政弘(奈良県三郷町)



グランプリ・上垣弘子さんの作品



優秀賞・西村圭織さんの作品



優秀賞・藤本華さんの作品

朝展2018開催

朝来市の市展「朝展2018」を開催しました。平面、立体・工芸、書・画、写真の4部門を全国から募集したところ、10府県152人から、それぞれ平面33点、立体・工芸12点、書・画18点、写真91点の合計156点の作品が寄せられました。1月21日に立体・工芸、22日には平面、書・画、写真を審査、入賞・入選87点が選ばれ、1月27日～3月11日まで、2階企画展示室で展示しました。

入選・入賞者は以下のとおりです。
(敬称略)

●絵画部門

大賞…椿野聖梨(朝来市)
準大賞…友田史江(豊岡市)
奨励賞…島田 勝(豊岡市)
竹村一博(豊岡市)
教育委員会賞…瀬田佳代子(京都府福知山市)
文化協会賞…伏黒由利子(富山県上市町)
友の会賞…小林 基(大阪府枚方市)
入選…上野 都(三木市)
衣川義和(京都府福知山市)
磯部悦子(埼玉県飯能市)
齊藤妙子(豊岡市)
安田文夫(神奈川県茅ヶ崎市)
上田晴彦(豊岡市)
植村秀喜(豊岡市)
島田千晴(豊岡市)
瀬崎研治(豊岡市)
杉本洋二(滋賀県湖南市)
田中たみよ(京都府京都市)
おぐらせつこ(神戸市)
丸尾邦典(姫路市)
水野洋子(姫路市)



絵画部門大賞「空」

大島瑞貴(姫路市)
井上 晃(朝来市)
大森梨紗子(朝来市)
野崎武司(朝来市)
三宅裕子(朝来市)
野竿 進(豊岡市)

●立体部門

大賞…田中ひろや(丹波市)
準大賞…周藤豊治(島根県松江市)
奨励賞…中村清次郎(朝来市)
教育委員会賞…中尾健二(養父市)
文化協会賞…平石 忠(京都府福知山市)
友の会賞…荒山浩文(篠山市)
入選…花城正明(京都府福知山市)
坂口繁次(豊岡市)
衣川義和(京都府福知山市)
山根亮二(朝来市)
本原亮一(岡山県早島町)
岩本則子(養父市)



立体部門大賞「ガラバゴス(化身)〜私がまだ虫だった頃」

●書・画部門

大賞…上垣弘子(養父市)
準大賞…田村美千代(養父市)
奨励賞…池田まゆみ(養父市)
教育委員会賞…羽瀨垂美(養父市)
文化協会賞…谷口蘇光(京都府福知山市)
友の会賞…橋本理子(豊岡市)
入選…北尾江里子(朝来市)
谷口恵光(京都府福知山市)
中村紘彰(豊岡市)
上垣妙子(養父市)
坂本麻子(養父市)
藤原るり子(養父市)
佐藤佳代(朝来市)
藤澤美月(香美町)
石原陽菜(朝来市)
河本友里奈(豊岡市)
奥山果那(朝来市)
篠岡 雅(朝来市)



書・画部門大賞「可能による」

●写真部門

大賞…大地洋次郎(京都府福知山市)
準大賞…白木文枝(京都府福知山市)
奨励賞…寺山欽吾(京都府福知山市)
奨励賞…竹下重一(養父市)
教育委員会賞…松岡淳二(豊岡市)
文化協会賞…藤原俊郎(神河町)
友の会賞…廣瀬昇司(丹波市)
入選…桑田孝史(朝来市)
二位岡野(豊岡市)
馬場和正(三田市)
石田米生(養父市)
田中武男(養父市)
大内昌男(京都府福知山市)
大内節子(京都府福知山市)
竹内待雄(神河町)
岡本晃一(京都府福知山市)
野崎弘喜(養父市)
藤原和實(養父市)
堀島信之(京都府福知山市)
橘 喜代子(豊岡市)
谷 幸史(京都府福知山市)
松場綱一(丹波市)
古川五夫(豊岡市)
谷口俊一(豊岡市)
橋爪一夫(朝来市)
山内きみ子(京都府福知山市)
中尾滋男(豊岡市)
藤木澄男(豊岡市)
田中早苗(豊岡市)
中島 威(豊岡市)



写真部門大賞「はじける青春」

スケジュール 2018.4 → 2018.8

ASAGO ART VILLAGE

月	日	曜	内 容	対 象	期間・時間など	掲載ページ
開催中			忍たま乱太郎の原画・忍者道具展	一 般	5月6日まで	2
			立原えりかのグリム童話絵本原画展	一 般	5月6日まで	2
5	12	土	但馬地域博物館 お宝大集合	一 般	7月1日まで	3
7	14	土	海洋堂フィギュア展(仮称)	一 般	9月2日まで	
8	3	金	アートDE遊ぼう	一 般	8月5日まで	
	4	土	チャイルドアートキャンプ	小学生	8月5日まで	
	25	土	チャイルドアートキャンプ	小学生	8月26日まで	

館長お薦めミステリー

谷 瑞恵 著「異人館画廊～盗まれた絵と謎を読む少女」

図像学を駆使して謎を解く

これまで紹介したのは、但馬地域を舞台にした、いわゆるご当地ミステリー。今回から、美術ミステリーを取り上げる。

サブタイトルは「盗まれた絵と謎を読む少女」。イギリスの大学で「図像学」〈イコノグラフィ〉を修めた千景が帰国し、異人館で画廊兼ティーサロンを営む祖母鈴子のもとに身を寄せる。図像(アイコン)は、絵画の中に「ある意味」を持たせた背景や小物を描き込む手法で、見た人に心理的な大きな影響を与える。例えば、それが「呪い」であったりすると…。

フランスからスペイン移送中のゴヤと作者不詳の絵画2点が強奪され、密かに日本へ運ばれた。損害保険会社からの依頼を受け、千景は盗難絵画の探索に乗り出す。美術モノは知識がないと難解、と思われがちだが、千景を取り巻く仲間のキャラが際立って、テンポよくストーリーが動き、読み応え十分。幼馴染の透磨との「ヤキモキ」関係も魅力の一つ。すでに「贋作師とまぼろしの絵」「幻想庭園と畏のある風景」「当世風婚活のすすめ」「失われた絵と学園の秘密」の5巻が出版されている。(集英社刊・560円+税込)



あさご芸術の森美術館友の会 会員の近況

●中村清次郎……鉄棒アート-海-

■会期…2018年4月8日(水)～30日(月・祝)

■会場…稲本他家 蔵ギャラリー(京丹後市久美浜町3120/電話 0772-82-2356)



あさご芸術の森美術館

ASAGO ART VILLAGE

〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739-3

TEL(079)670-4111 FAX(079)670-4113

http://www.city.asago.hyogo.jp/

E-mail : art-village@city.asago.lg.jp

